

2020年農林業センサス結果の概要（概数値） （令和2年2月1日現在 広島県）

－ 農業経営体の減少が続く中で、法人化や経営規模拡大の進展が継続 －

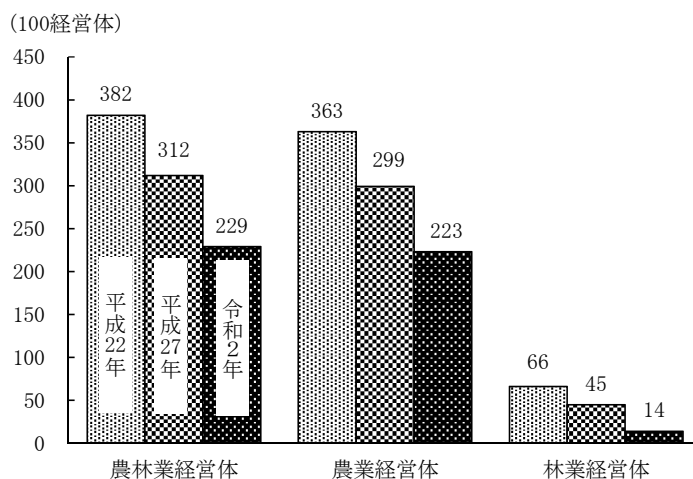
I 農林業経営体調査結果

1 農林業経営体

農林業経営体数は2万2,932経営体で、5年前に比べ8,308経営体（26.6%）減少しました。

このうち、農業経営体は2万2,292経営体で、7,637経営体（25.5%）減少し、林業経営体は1,438経営体で、3,049経営体（68.0%）減少しました。

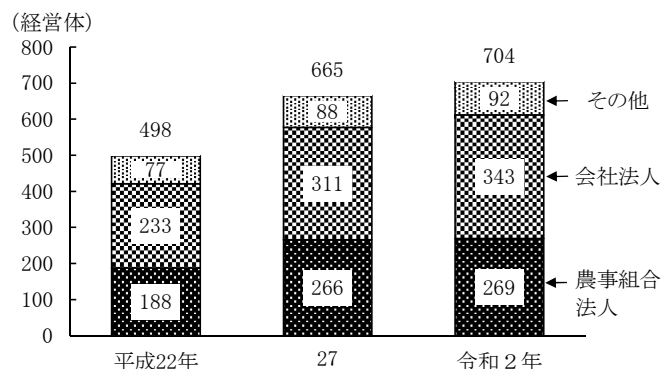
図1 農林業経営体数



農業経営体のうち、法人経営体は704経営体で、5年前に比べ39経営体（5.9%）増加しました。

これは、農事組合法人で3経営体、会社法人で32経営体、その他で4経営体とすべての経営体が増加したことによります。

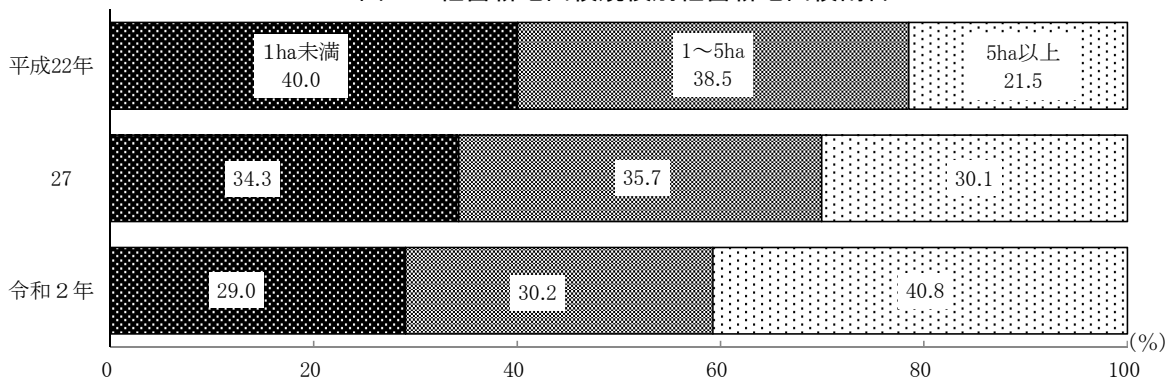
図2 法人化している農業経営体数



2 経営耕地面積の集積割合

農業経営体の経営耕地面積規模別に経営耕地面積の集積割合をみると、5ha以上層の農業経営体は40.8%を占め、5年前に比べ10.7ポイント上昇しました。

図3 経営耕地面積規模別経営耕地面積割合



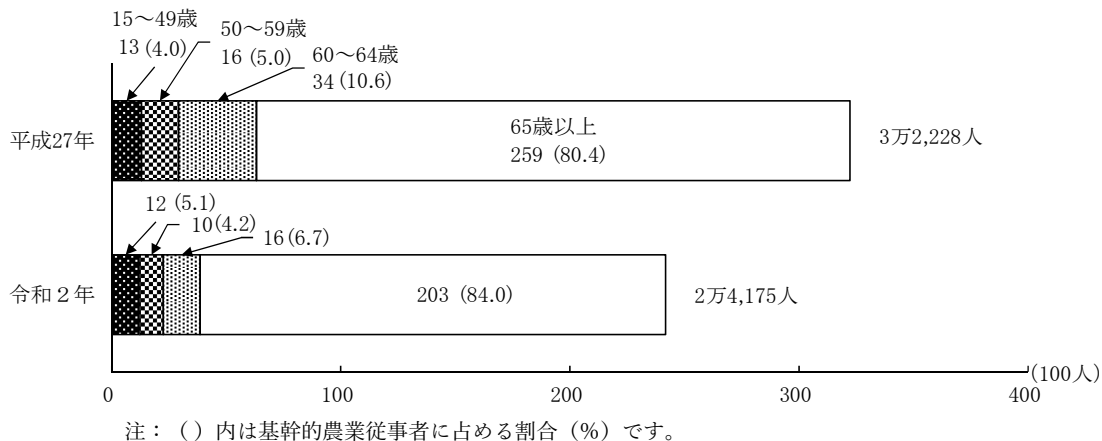
注：表示単位未満を四捨五入しているため、計と内訳の積み上げが一致しない場合があります（以下同じ。）。

3 基幹的農業従事者数（個人経営体）

農業経営体のうち個人経営体の基幹的農業従事者（仕事が主で、主に自営農業に従事した世帯員）は2万4,175人で、5年前に比べ8,053人（25.0%）減少しました。

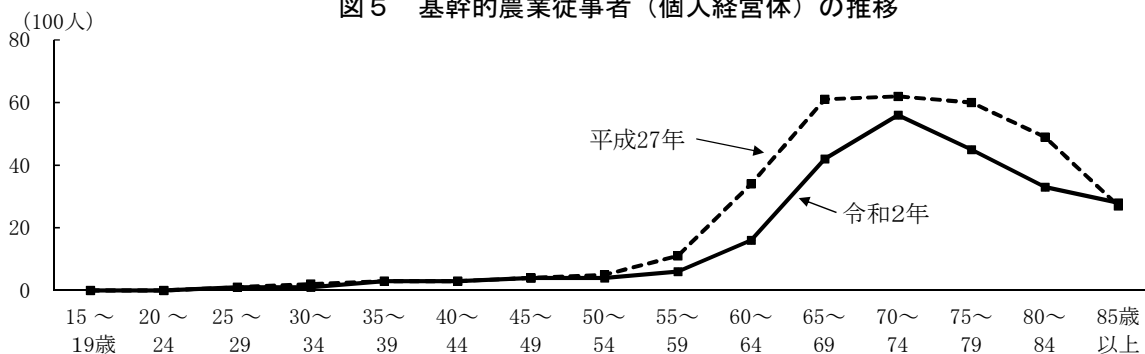
個人経営体の基幹的農業従事者のうち65歳以上が占める割合は84.0%となり、5年前に比べ3.6ポイント上昇しました。

図4 年齢別基幹的農業従事者数（個人経営体）の構成



年齢階層別に基幹的農業従事者の推移をみると、5年前に比べ、35～39歳、45～49歳、85歳以上の層を除き減少しました。

図5 基幹的農業従事者（個人経営体）の推移



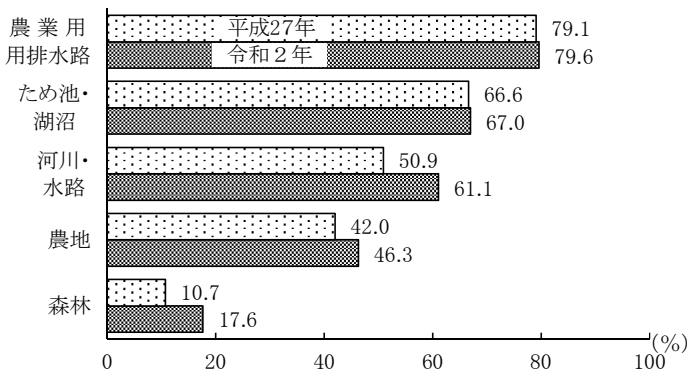
II 農山村地域調査結果

地域資源の保全状況

農地、森林、ため池などの地域資源の保全状況をみると、「農業用排水路」が最も高く79.6%となりました。

また、5年前に比べ、全ての地域資源において、地域として保全活動を行っている農業集落の割合が増加しています。

図6 地域資源を保全している農業集落数の割合



本資料は「2020年農林業センサ結果の概要(概数値)[中国四国]」の補足資料となっています。調査の概要、用語の解説は、「2020年農林業センサ結果の概要(概数値)[中国四国]」をご覧ください。

● 本統計調査結果について
 中国四国農政局 統計部 経営・構造統計課
 電話：086-224-4511（代表） 内線 2730、2732、2734
 086-224-9427（時間外）
 F A X ：086-234-6047

